

平成28年度 学校評価自己評価最終報告

学校教育目標 「よく学び よく遊び やさしく強く」

中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価項目	指標	最終報告までの取組	評価基準				評価	結果の分析	来年度に向けての取組 (誰が いつ 何をするのか等)		
						A	B	C	D					
						目標達成	ほぼ達成	もう少し	できていない					
知	しっかり考え表現する子	主体的に学び、意欲的に自分の考えを表現する児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力を育成する授業づくり ・主体的な学習態度の育成 ・読書活動への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査の結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・「全国学力・学習状況調査」【活用問題：B問題】 県平均通過率との比較 (2教科の平均) 本校65.2 県55.0 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力調査 <ul style="list-style-type: none"> ・のびっこタイム、家庭学習→児童の苦手なところを重点的に取り組む ・プリントを作成 ・授業改善 ○「課題発見・解決学習」の授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・思考の視点 ・論理的思考力、創造的思考力 ・思考ツール→協働的な学び ・単元や1時間のゴールの見直し ○読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ・親子読書→第2,4週末 ・学級で定期的に図書室を利用 ・本を各教科で使用 	5ポイント以上	3ポイント以上	県平均以上	県平均未満	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学力調査 <ul style="list-style-type: none"> ・解説の時間を確保し、繰り返し問題に取り組む ○「課題発見・解決学習」の授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究の協議した課題や成果を日々の授業に取り入れながら、教師の指導力のさらなる向上を図る必要がある。 ・児童が思考の深まりを実感できたり、「学びのモニタリング」の充実を図りながら児童が客観的に自己を振り返ることができたりするような授業づくりを行う。 ○読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ・親子読書を継続して取り組む。 ・月4冊以上本を借りる。 →読書貯金カードなどを作成し、児童の意識を高める。 ・図書委員会、図書館司書ボランティアの活動を広げる 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力調査 ・「全国学力・学習状況調査」の結果 ・「『基礎・基本』定着状況調査」の結果 ・「海田町標準学力調査」の結果 ・【児童】授業では、目的に応じて(めあてにそって)資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている。 82% ・【保護者】わが子は週に2日以上読書をしている。 71% ・図書カードの集計 ・月に4冊以上本を借りている児童の割合 92% 	
				<ul style="list-style-type: none"> ・「『基礎・基本』定着状況調査」の結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・「『基礎・基本』定着状況調査」の結果 ・「海田町標準学力調査」の結果 		<ul style="list-style-type: none"> ・「海田町標準学力調査」 全国平均通過率との比較 (3教科の平均) 本校61.0 県45.1 	8ポイント以上	7ポイント以上	6ポイント以上	5ポイント以下			A
				<ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケート (児童) 	<ul style="list-style-type: none"> ・【児童】授業では、目的に応じて(めあてにそって)資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている。 82% 		<ul style="list-style-type: none"> ・【保護者】わが子は週に2日以上読書をしている。 71% 	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満			B
				<ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケート (保護者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・【保護者】わが子は週に2日以上読書をしている。 71% 		<ul style="list-style-type: none"> ・月に4冊以上本を借りている児童の割合 92% 	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満			C
				<ul style="list-style-type: none"> ・図書カードの集計 	<ul style="list-style-type: none"> ・月に4冊以上本を借りている児童の割合 92% 			90%以上	80%以上	70%以上	70%未満			A
徳	自分や友だちを大切にできる子	美しいあいさつ・返事・ことばづかいができる児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動 ・返事・ことばづかいの指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケート (児童・保護者) ・評価カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・【児童】相手に聞こえる声で、あいさつや返事をしている。 86% ・【児童】相手に応じて、丁寧な言葉や敬語を使って話ができる。 86% ・【保護者】わが子は相手に聞こえる声であいさつや返事をしている。 68% ・ボランティアカードのシール獲得枚数5枚以上の児童の割合<学期ごと> 72% 	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶運動 <ul style="list-style-type: none"> ・児童会一月・木・金に行いボランティアカードを配布し意欲を高める ・自主参加→火・水に挨拶運動をしていた児童を放送で紹介するなどして評価 ・教職員→学年でローテーションを組み交代で挨拶運動に参加 ○掲示物による啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・靴箱の整頓がトイレにも波及するように靴箱の写真を掲示 ○放送による啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・学級の係活動で靴揃えを行っている学年を紹介 	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	C	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶運動 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶ボランティア参加によるシール獲得枚数が5枚以上の児童の割合は前回調査の52%から72%と増えた。 ・活動は定着してきた。今後は挨拶の内容に着目し、よい挨拶をしている児童を紹介するなどして気持ちのよい挨拶とはどういうものかを考える取組を行う。 ○靴揃えの指導 <ul style="list-style-type: none"> ・朝、昼休憩後、放課後など時間を変えて靴箱の様子を確認した。靴揃えは児童に定着したと考えられる。今後はトイレのスリッパにも範囲を広げ取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○放送による啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのよい挨拶ができる児童を各学年より選んで放送で紹介する。 ○挨拶運動の現場での評価 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶運動に参加している教職員が随時よい挨拶を評価しモデル化をはかる。 	
				<ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケート (児童) ・評価カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・【児童】靴箱のくつ(上ばき)のかかとをそろえている。 92% ・靴箱のはき物をそろえている児童の割合 94% 		<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感を高める評価 <ul style="list-style-type: none"> ・朝会など全体の場で評価し自信をもたせる。 	85%以上	75%以上	50%以上	50%未満			A
体	自分から健康を	進んで自らの健康について考える児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・無遅刻・無欠席児童の割合<学期ごと> 520名中219名達成 42% 	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症予防 <ul style="list-style-type: none"> ・換気・手洗い・うがい・早ね、早起き・外遊びの呼びかけ。 ○担任・養護教諭・栄養教諭の指導 <ul style="list-style-type: none"> ・帰りの会での振り返り。養護教諭の巡回。(校内を回り、教室の換気状態や児童の様子を伺う。) 栄養教諭の給食指導。(野菜の食べ具合) ○自主的活動 <ul style="list-style-type: none"> ・学級の係や保健委員会の活動(換気・加湿への注意等) 	50%以上	45%以上	40%以上	30%未満	C	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・無遅刻・無欠席の取組を、学校便り・ほけんだよりに定期的に掲載する。 ○児童との関わり <ul style="list-style-type: none"> ・管理職・担任・生徒指導主事・養護教諭が連携し、不登校気味児童に積極的な関わりをし、記録に残す。 			